

地域包括支援センターは高齢者の皆さんが いつまでも安心して暮らせる地域づくりを行っています

地域の連携・協力体制を支えます

ケアマネジャーの支援や地域のさまざまな関係機関、医療や介護の専門家と連携した体制づくりに取り組みます。

例えば・・・

- 介護保険制度の要である、ケアマネジャーを支援しています。

相談や悩みにお答えします

高齢者の皆さんや家族、地域の方からの相談や悩みにお答えし、情報の提供やサービスの紹介などを行います。

例えば・・・

- 一人暮らしだけど、今後が不安である。

健康を保って暮らせるよう支援します

足腰の強化や筋力の向上、認知症予防などに効果のある介護予防教室への参加のお手伝いをします。

例えば・・・

- 最近足腰が弱ってきたけど介護はまだ・・・。



認知症になっても自分らしく暮らし続けられるよう支援します

認知症の人にやさしい地域づくりに取り組みます。

例えば・・・

- 母親の物忘れが心配・・・。
- 地域で認知症について学びたい。

助け合いの地域づくり

高齢者を地域の中で支え合い包み込む力を育みながら、地域の助け合い活動の活性化を目指して取り組んでいます。

例えば・・・

- 地域に必要な資源をみんなで考えます。

消費者被害や虐待の防止に取り組めます

消費者被害の未然防止、虐待の早期発見、成年後見制度の紹介や相談支援などを行います。

例えば・・・

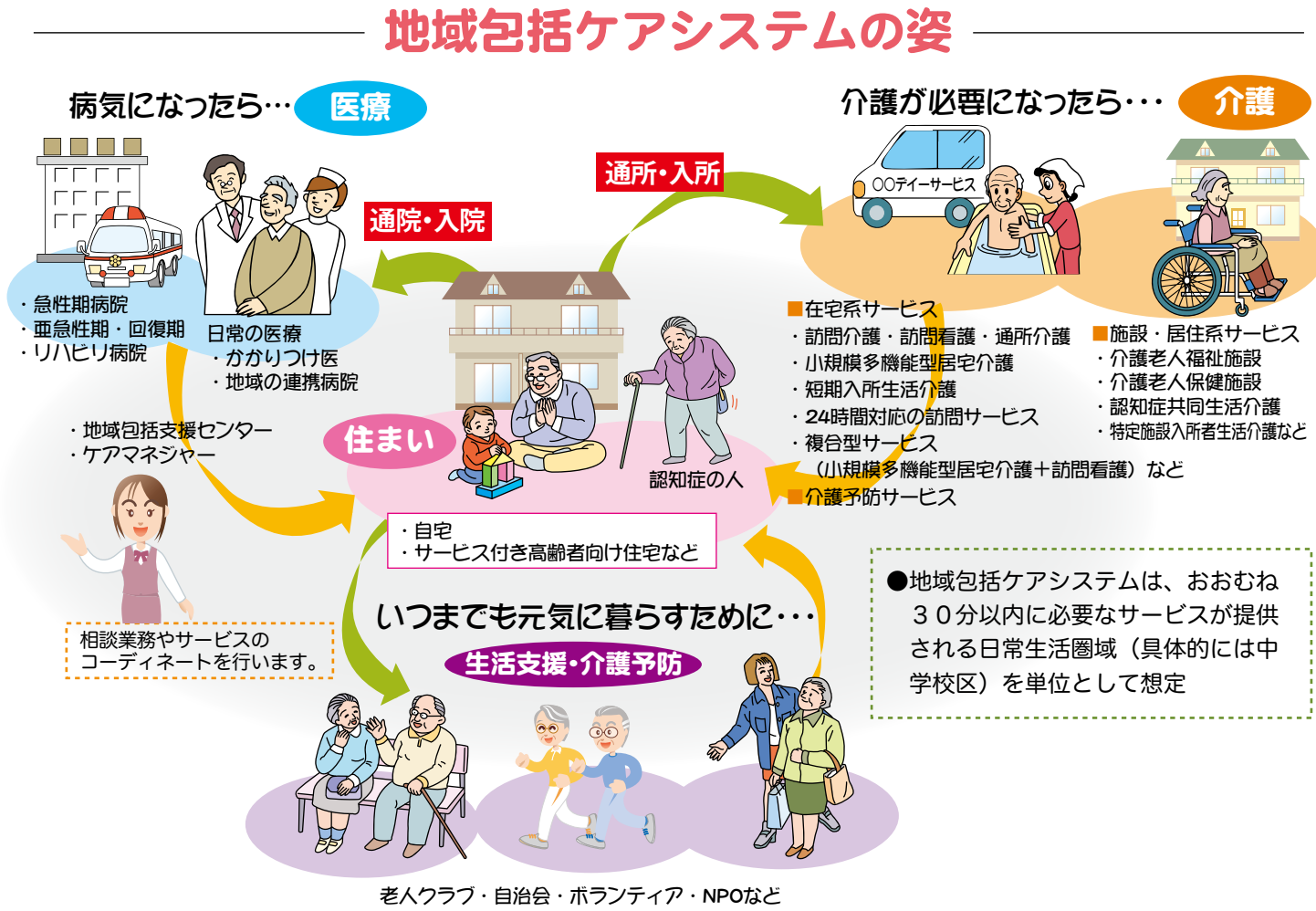
- 高価な布団を買わされてしまった・・・。
- 近所から怒鳴り声があるけど・・・心配。
- お金の管理に自信がない・・・。

在宅療養を支えます

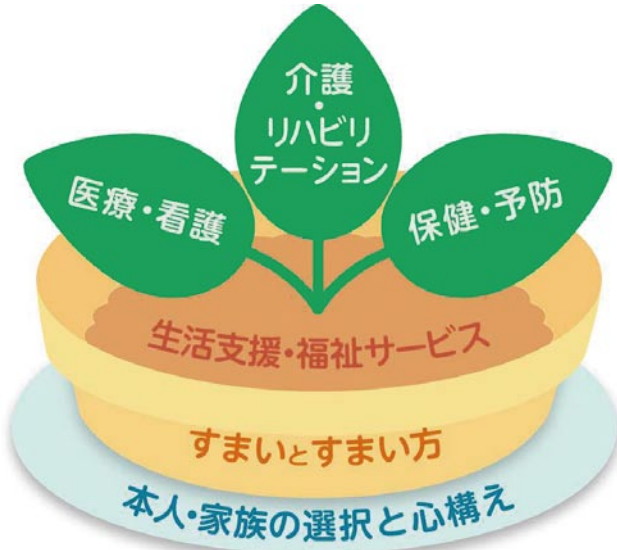
病気になっても、年をとっても、住み慣れた自宅などで自分らしく生活ができるよう在宅医療と介護を一体的に提供する体制づくりに取り組みます。

例えば・・・

- 病院から退院するけれど不安である。
- 地域にはどんなサービスがあるのか？



高齢者がいつまでも安心して暮らしていけるよう、医療・介護・福祉などのサービスを切れ目なく提供するための地域包括ケアシステムづくりを、地域包括支援センターが中心になって推進します。



左の図は見守り・支え合いのある町を土台とした地域包括ケアシステムの構成要素を、植木鉢で表現したものです。人生をどう過ごすかの「本人・家族の選択と心構え」が受け皿になります。鉢は「住まい」で土が「生活支援」となり、3枚の葉が専門職によるサポートです。この構成要素に基づき、地域包括ケアシステムが整備されつつあります。